



創立昭和28年1月8日

# TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2019-20年度  
国際ロータリーテーマ  
「ロータリーは世界をつなぐ」  
-ROTARY CONNECTS THE WORLD-  
マーク・ダニエル・マローニー R1 会長  
国際ロータリー第2640地区  
中野 均ガバナー

### 4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから  
(1) 真実かどうか  
(2) みんなに公平か  
(3) 好意と友情を深めるか  
(4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30  
例会場 ホテルハーヴェスト南紀田辺  
会長 白井 浩  
幹事 古谷 典子  
会報委員長 山路 守  
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日  
事務所 〒646-0031  
田辺市湊23-6  
TEL 0739-24-2002  
FAX 0739-26-0264  
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「沈丁花」撮影 寒川真典会員

- 司会者  
白井 浩会長
- ソング  
我等の生業
- ゲスト  
田辺市立美術館  
学芸員 三谷 渉 様
- ビジター

### 2月27日のプログラム

新会員卓話  
  
濱本 龍太 会員

### 3月5日のプログラム

会員卓話  
  
中田 隆晶 会員

### 出席報告

	第3278回	第3279回	第3280回
会員数	85名	85名	85名
出席規定免除会員数	7名	7名	7名
出席計算会員数	82名	82名	82名
出席者	60名	64名	57名
出席率	73.17%	78.05%	69.51%

### メイクアップ

12月16日 玉井、木村勝、新藤、横田、古谷  
(次年度の為の地区チーム研修セミナー)

### お祝い

配偶者誕生日 竹本せき子(達也) 瀬戸宏子(英男)  
結婚記念日 濱本

### ニコニコ箱

☆田辺市立美術館学芸員三谷 渉様、本日の卓話宜しく  
お願いします。楽しみにしています。…白井、古谷  
☆田辺市立美術館学芸員三谷 渉様、卓話宜しくお願  
いします。……………新井、廣本、伊賀、池永、柏木、堅田、  
近藤、松本、溝口、野村、新藤、杉若、橘、玉井、田中陽、  
植田英、脇村明、脇村富、山本博、濱口、平尾、岩本、瀬戸  
☆歓迎会を開いて頂き誠にありがとうございました。  
感謝しております。……………玉置達

### お知らせ

#### 会長報告

・訃報のお知らせをいたします。榎本長治会員の御母  
堂滯子様、享年99歳を以って永眠されました。榎  
本会員よりお見送りはご家族・ご親族のみでとの申  
し出により、お知らせは致しませんでした。皆様を  
代表してお悔みにお伺いし、お参りさせて頂きまし  
た。

#### 幹事報告

・2月16日に、次年度の為の地区チーム研修セミナーが、  
ホテルグランヴィア和歌山に於いて行われ、次年度  
地区役員・委員の玉井洋司会員、木村勝次会員、新藤  
整市会員、横田達夫会員、私の5名が出席致しました。  
・くちくまのクラブシーカ、ザ・ロータリアン、ハイラ  
イトよねやま、近隣クラブ会報が届いていますので  
回覧します。

### 委員会報告

#### 青少年奉仕委員会

竹内正巳委員長

・3月20日～22日まで開催を予定されていた青年  
ライラセミナーが、中止との連絡が入りましたの  
でご報告致します。当クラブから4名の学生の方に  
参加申し込みをして頂く予定でしたが、新型コロナ  
ウィルスについて、WHO＝世界保健機関による「国際  
的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言および  
日本政府が当該感染症を「指定感染症」とする政令が  
出ましたことを受けて、参加者の健康と安全を最優  
先に考慮され、中止となったようです。



『「岸田劉生展」について』

田辺市立美術館  
学芸員  
三谷 渉 様

ご紹介に与りました、田辺市立美術館の学芸員、三谷渉です。田辺ロータリークラブの皆様には、平素より美術館の活動にご理解とご支援をいただいておりますこと、心から感謝いたします。この場をお借りしまして、改めて厚く御礼を申し上げます。この10年間ほどは毎年、皆様の例会卓話にお招きいただき、美術館の近況についてご報告させていただいております。本日は、開催中の特別展「岸田劉生展」についてお話したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

岸田劉生の名前は、皆様も一度はお聞きになったことがあるかと思えます。教科書などで、代表的な作品である、自分の娘を描いたミステリアスな「麗子像」の写真を見た記憶のある方、あるいは実際に作品をご覧になったことのある方も多いのではないのでしょうか。岸田は明治の中頃に生まれ、昭和初期に38歳の若さで亡くなりましたが、先の「麗子像」を含め、2点の作品が重要文化財に指定されている、日本の近代美術を代表する巨匠と呼ぶにふさわしい画家です。昨年が没後90年の年にあたり、岸田の偉業を振り返る機運の高まりから、当館以外に現在、名古屋市美術館でも「岸田劉生展」が開かれていて、ふたつの回顧展が同時に開かれるというまれな現象が起きています。名古屋市美術館の「岸田劉生展」は、油彩画を中心に制作の過程、変遷を綿密にたどる内容で、東京ステーションギャラリー、山口県立美術館の3館が共同で企画し、開催しているものです。これに対し、当館で開催している展覧会は、笠間日動美術館の所蔵品を軸に、岸田の多彩な創作活動をできるだけ広範囲に伝えることをねらったもので、広島銀行が出資している公益財団法人ひろしま美術館と岐阜県美術館、そして当館の3館が協力しあって構成したものです。油彩画以外に、素描、水彩画、日本画、装丁など、岸田の多岐にわたる作品150点以上を一堂に公開しています。この展覧会では、岸田の芸術を、大きく西洋美術の摂取から東洋的な表現への移行ととらえ、洋画家でありながらも画業の後半には制作の主としていた日本画作品にも重点をおいて、それらの展示がおおよそ半分を占める会場となっています。また岸田の同世代の文学者たちとの交流や、デザインの資質がうかがえる分野として、装丁の展示にも1室をあてて紹介しています。

ご覧いただければ、「麗子像」だけではない、傑出した岸田の画家としての天分や並外れた創作意欲、洋の東西を問わない文化的な素養と深い思索の跡を感じ

とっていただけるものと考えています。この度の新型肺炎流行の影響で、予定していた講演会を急遽中止せざるを得ないといった事態も生じてきていますが、展覧会は引き続き開催していますので、ぜひこの機会に当館の「岸田劉生展」をご観覧いただければと思います。ご来館をお待ちいたします。

最後までご清聴くださり真に有難うございました。今後とも何卒よろしく皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

最後までご清聴くださり真に有難うございました。今後とも何卒よろしく皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

**岸田劉生展**  
— 写実から、写意へ —  
2020年  
2月1日[土]—3月22日[日]  
開館時間 午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休 日 日(当館休館日) 月(休館日) 火(休館日) 水(休館日) 木(休館日) 金(休館日) 土(休館日) 日(休館日)  
観 覧 料 1000円(450円) (小学生以下は半額) (中学生以上は半額) (高校生以上は半額) (中学生以上は半額) (高校生以上は半額)  
主 催 田辺市立美術館 協 賛 公益財団法人ひろしま美術館 岐阜県美術館 岐阜県立美術館 公益財団法人日本銀行 公益財団法人日本銀行 公益財団法人日本銀行  
共 催 2月22日:「岸田劉生の油彩画と装丁」  
高尾美穂子 (公益財団法人ひろしま美術館)  
3月7日:「岸田劉生の日本画」  
三谷 渉 (田辺市立美術館)  
時 間 2月8日—3月21日  
10時—18時(入館は17時30分まで) (小学生以下は半額) (中学生以上は半額) (高校生以上は半額) (中学生以上は半額) (高校生以上は半額)  
田辺市立美術館  
TANABE CITY MUSEUM of ART  
〒660-0015 和歌山県田辺市田辺1-1-1 田辺市立美術館  
TEL:0736-23-3270 FAX:0736-23-3271

**岸田劉生展**  
— 写実から、写意へ —  
2020年2月1日[土]—3月22日[日]  
岸田劉生(1891-1929)は、38年間の生涯に驚くべき集中力で、充ちた幾多の名作を残した。日本近代の巨匠と呼ばれるにふさわしい画家です。  
岸田はその20年ほどの短い画業のうちに、自身の表現を次々に変化させ、一つの作風に停滞することがありませんでした。穏やかな風景の描写から出発して、当時最先端だった西洋の表現主義的な傾向に同調した後、今度は時代に背くかのように北歐の古典的な細密描写に接近してゆきます。その写実表現を突き詰めてゆく中で、岸田は独自の緊張感と精神性をたたえた秀作を生み出しました。  
同時に一方で、日本の古美術や古典芸能への関心を高め、それは表現にも変化を与えます。東洋美術の神秘的でミステリアスな油彩画から、やがて実際に日本画の筆をとって作品を描くようになります。晩年の岸田は、むしろ日本画を描くことの方が多くなりました。  
本展覧会では、岸田の西洋美術の受容から東洋的な表現への移行に注目し、油彩画だけでなく装丁や日本画作品にも重点をおいて、その芸術を振り返り、紹介します。  
● (自由席) 1913(大正2)年 互野田勲美術展  
● (自由席) 1914(大正3)年 1919(大正8)年 笠間日動美術館展  
● (観覧料) 1918(大正7)年 笠間日動美術館展  
● (竹村七郎) 1924(大正13)年 堺 個人展  
● (竹村七郎) 笠間日動美術館展  
「JRC伊田以親」「JRC田中」互野田勲美術展  
明見入会、[南和歌山] 笠間日動美術館センター一階 展示室  
『岸田劉生展』下巻、後部59分。  
田辺市立美術館  
TANABE CITY MUSEUM of ART  
〒660-0015 和歌山県田辺市田辺1-1-1 田辺市立美術館  
TEL:0736-23-3270 FAX:0736-23-3271